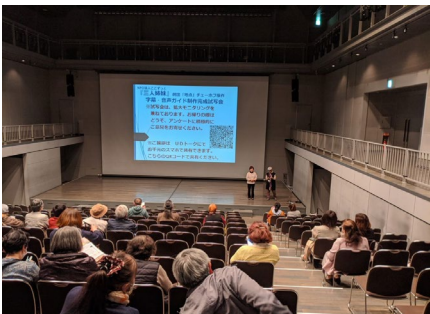
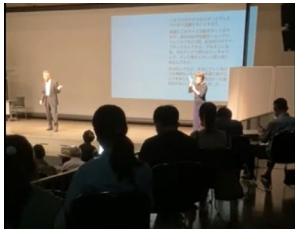


回	実施日	会場	上映作品	製作年/上映時間/監督	バリアフリー対応	連動企画	来場者 有料+無料	備 考
第0回	2015年1月30日	ラクアルおださが	日本と原発	2014年/2時間17分/河合弘之	字幕なし 音声ガイド(自主制作)	河合弘之弁護士監督トーク		
第1回	2015年8月7日	相模女子大学グリーンホール 多目的ホール	ある精肉店のはなし	2013年/108分/縦縞あや	official字幕・official音声ガイド ※音声ガイド制作に意見参加	縦縞あや監督トーク	111名+10名	ゆめの芽・ファーストステップ助成金事業 市立環境情報センターとクールシェア・イベントとして共催
第2回	2015年11月28日	同上	沖縄 うりずんの雨	2015年/2時間28分/ジャン・ユンカーマン	official字幕・official音声ガイド (UDCast方式)	ここずたうん11号発行 特集・バリアフリーって何	99名+5名	ゆめの芽・ファーストステップ助成金事業
第3回	2016年2月13日	同上	アラヤシキの住人たち	2015年/117分/本橋成一	official字幕・official音声ガイド (UDCast方式)	ここずたうん12号発行 特集・ここちよい居場所	107名+記録なし	ゆめの芽・ファーストステップ助成金事業
第4回	2016年8月11日	同上	藍色少年少女	2015年/ /倉田健次	字幕・音声ガイドとも自主制作 トークに手話通訳者、要約筆記	監督、出演者、子役トーク	110名+31名	ゆめの芽・ステップアップ助成金事業 市立環境情報センターとクールシェア・イベント共催 ※さがみはら環境まつりにて事前トークイベント参加。
第5回	2016年11月19日	同上	不思議のクニの憲法〈改訂・新版〉	2016年/122分/松井久子	字幕・音声ガイドとも自主制作		57名+11名	ゆめの芽・ステップアップ助成金事業 ※改訂版として本邦初の上映会となった
第6回	2017年2月4日	同上	風の波紋	2015年/99分/小林茂	official字幕 音声ガイドは自主制作 手話通訳者と要約筆記	天野季子ピアノ弾き語りと小林茂 監督トーク 	83名+17名	ゆめの芽・ステップアップ助成金事業 聴覚障がい者と音楽を共有するため和光大表現学部3年末安日奈子さんによるダンスパフォーマンスを実施 また、この回より地域事業者と連携した半券サービスを企画。
第7回	2017年8月11日	同上	波のした、土のうえ 息の跡	2014年/68分/小森はるか+瀬尾夏美 2016年/93分/小森はるか	波) 字幕・音声ガイドとも自主制作 息) official字幕・official音声ガイド 挨拶に手話通訳		64名+19名	ゆめの芽・ステップアップ助成金事業 後援・相模原市及び大野南地区社会福祉協議会 2本立て上映会として、入場料を一般1500円に設定 挨拶に要約筆記の代替としてPPスライドを使用
第8回	2017年11月24日	同上	この世界の片隅に	2016年/129分/片淵須直	official字幕・official音声ガイド (UDCast方式) 挨拶・会場案内に手話通訳者配置 フライヤー及当日資料にUNI-Voice表示 挨拶・会場案内にPPスライドによる表示		142名+4名 82名+4名	ゆめの芽・ステップアップ助成金事業 後援・相模原市、相模原市教育委員会、相模原市及び大野南地区社会福祉協議会 協力・palabra株式会社 当日パンフ (A4立て二つ折り) を作成 この回のみ一般1000円、中学生以下500円とする。
第9回	2018年2月11日	同上	もうろうをいきる	2017年/91分/西原孝至	official字幕・official音声ガイド (UDCast方式) 挨拶・会場案内に手話通訳者配置 フライヤー及当日資料にUNI-Voice表示 挨拶・会場案内にPPスライドによる表示		66名+2名	ゆめの芽・ステップアップ助成金事業 後援・相模原市、相模原市教育委員会、相模原市社会福祉協議会 当日パンフ (A5立て二つ折り) を作成
第10回	2018年8月10日	同上	米軍が最も恐れた男 その名はカメジロー	2017年/107分/佐古忠彦	字幕・音声ガイドとも自主制作 挨拶・会場案内に手話通訳者配置 フライヤーにUNI-Voice表示 挨拶・会場案内にPPスライドによる表示		210名+11名	後援・相模原市、相模原市教育委員会、相模原市社会福祉協議会 当日パンフ (A6立て二つ折り) を作成 ※アンケート結果をもとに、(財)相模原文化財団にバリアフリーについての配慮を求める要望書を提出 (2018.11.2)

回	実施日	会場	上映作品	制昨年/上映時間/監督	バリアフリー対応	連動企画	来場者 有料＋無料	備 考
第11回	2018年11月16日	同上	さとにきたらええやん	2015年/100分/重江良樹	official字幕・音声ガイド（シネマ・チュブキ提供、UDCast方式） 挨拶・会場案内に手話通訳者配置 フライヤーにUNI-Voice表示	ここずたうん17号配布 特集・こどもたちの居場所	32名＋9名	後援・相模原市、相模原市教育委員会、相模原市社会福祉協議会
第12回	2019年3月22日	同上	人生フルーツ(昼①・夜③上映会) 居酒屋ばあば（②上映会）	2016年/91分/伏原健之 2017年/52分/伏原健之 制作・著作 東海テレビ	チュブキ提供、FM発信方式 「ばあば」字幕・音声ガイドともシネマ・チュブキ提供、FM発信方式 挨拶・会場案内に手話通訳者配置 フライヤーにUNI-Voice表示 会場案内・挨拶にPPスライドによる表示		①161名＋27名 ②150名＋9名 ③34名＋9名	後援・相模原市、相模原市教育委員会、相模原市社会福祉協議会 可動式床面調整による段差の少ない会場設定（相模原市就労支援事業所メンバーによる）
第13回	2019年8月22日	同上	愛と法	2017/監督：戸田ひかる／94分／日本・英国・仏／原題 Of Love&Low／ 出演：南和行 吉田昌史	字幕・音声ガイドとも ここずつと制作 音声ガイドは3チャンネル自動同期によるFM発信提供 UDトーク環境ををMASCの環境提供により実現。オペレーターのべ5名により挨拶・監督トークも字幕表示 14回予告編は字幕つきで鈴木大輔氏によるライブ・ガイド付き	サプライズ監督トーク、会場質疑応答 戸田ひかる監督 ここずたうん 18号配布 上映会に先立ち「UDトーク活用講座」（講師・川野MASC事務局 長）を開港	①46名＋10名＋スタッフ15名 ②23名＋スタッフ8名	後援・相模原市、相模原市教育委員会、相模原市社会福祉協議会 可動式床面調整による段差の少ない会場設定（相模原市就労支援事業所メンバーによる/蓄光テープの使用による足元喚起を実施） 上映会に先立って「UDトーク活用講座」を開講 当日上映会資料として「ここずたうん 18号」を発行
第14回	2019年11月22日	同上	誰がために憲法はある	2019/監督：井上淳一/69分/©「誰がために憲法はある」制作 運動体/配給・宣伝：太秦株式会社	字幕：ここずつと制作 音声ガイド：オープン方式によるライブ・ガイドを実施。ガイドは鈴木大輔氏（バリアフリー演劇集団「ばっかりばっかり主宰」）による	上映前に鈴木氏にミニ・トークを行い、手話通訳を行うとともに、UDトークによるスクリーンへのテキスト表示を行った。	有料入場者60名 ガイドヘルパー4名 スタッフ・ボランティア19名	後援・相模原市、相模原市教育委員会、相模原市社会福祉協議会 可動式床面調整による段差の少ない会場設定（相模原市就労支援事業所メンバーによる/蓄光テープの使用による足元喚起を実施） 当日上映会資料としてA4サイズ二つ折り4ページのパンフを制作。その全ページにUni-Voiceコードを挿入し、コードの位置を教える切込みを行った。
延期	2020年3月13日 実施予定だったがコロナ感染防止のため、延期措置	教諭師	2018/日本/114分/カラー/脚本・監督：左向大/出演：大杉漣、玉置玲央、鳥丸せつ子、五頭岳夫、小川登、古館寛治、光石研	字幕：オフィシャル 音声ガイド：音声ガイド自主制作市民グループ〈うさぎのみみ〉さんと〈バリアフリー映画鑑賞推進団体・シティライツ〉さんと連携して、2月18日、ユニコムプラザにてモニターリングを実施。台本推敲を経て、2月28日視聴覚ライブラリのスタジオにて録音。				【音声ガイド制作講座を開催】 今後の音声ガイドの自主制作環境を地域に育むために、<ここdeシネマ開催事業>と連携した「音声ガイドとは何か」「どのように作っていくか」をテーマに、以下の通り、相模原市視覚障害者協会女性部と連携した事前イベントを事前開催。 日時：2020年1月22日（水） 10:00AM～ 場所：けやき会館 講師：バリアフリー演劇結社ばっかりばっかり
第15回	2020年8月28日 「新型コロナ感染とたたかう市民のみなさんに 映画を楽しみ 元気を出してもらいたい上映会」と銘打って開催	相模女子大学グリーンホール 多目的ホール	教諭師		同上音声ガイドを使用 視覚障がい者のための作品ガイドを制作、Uni-Voice付き ※UDトークのテキスト表示のために映像プロジェクターを購入・使用	昼の部の後【古館寛治氏の四苦八苦トーク】を実施 手話通訳付き、UDトーク活用 出演：古館寛治 司会：斎藤奈美	昼の部 87名＋ヘルパー6名 夜の部 50名＋ヘルパー1名＋中学生1名 スタッフ 27名(UDトークオペレーター含む)	後援・相模原市、相模原市教育委員会、相模原市社会福祉協議会 延期及び実施について、大野南地区の自治会長あてに協力依頼書を送送。 UDトークオペレーターを南ボランティアセンターを通じて募集。初心者のために研修会を実施してのぞむ。 UDトーク研修会：8月28日(上映会同日) AM11：00～12：00 場所：南福祉ラウンジにて実施。

回	実施日	会場	上映作品	制昨年/上映時間/監督	バリアフリー対応	連動企画	来場者 有料+無料	備 考
特別 試写会	2021/3/16 劇団「地点」DVD 『三人姉妹』 字幕・音声ガイド完 成試写会	相模女子大学グリー ンホール 多目的 ホール		Thatre for ALL 参加コンテンツ 劇団「地点」のチェーホフ原作『三人姉妹』	字幕・音声ガイドとも ここずっと制作 音声ガイドは会場オープン方式にて提供 手話通訳及びUDトーク環境を設立して個別対応によ る 会場案内にPPスライド表示	「地点」制作・田嶋結菜氏挨拶 「Thatre for ALL」受託団体 (株)precog氏藤氏挨拶あり	試写会につき 障がい当事者・福祉 関係者、NPO関係者に 告知及び招待 参加者31名 スタッ フ6名 地点1名 precog1名	アンケート回収27通 ここずたうん19号に試写会実施報告掲載
第16回	2021年4月28日	南市民ホール ※伊勢丹解体工事に 伴うアクセス通路の 悪化で試験的に会場 を変更		2020年/日本/100分/カラ ー 監督：五百旗頭幸男 砂沢智 史 制作：チューリップ・テレビ	字幕・音声ガイドはシネマ・チューブキ提供、FM発信方 式 挨拶・トーク・会場案内に手話通訳者配置 フライヤー及びトークレジュメにUNI-Voice表示 会場案内・挨拶にPPスライドによる表示	昼の部の後【相模原市議会の“は りぼて度”を語る】を実施 手話通訳付き、UDトーク活用 出演：赤倉昭男(元・相模原市議 会をよくなる会代表、南区南台在 住) 司会：斎藤奈美 トーク打合せ：4/20	昼の部 96名+ヘル パー5名 夜の部 28名 スタッフ 16名(UD トークオペレーター 含む)	後援・相模原市、相模原市教育委員会、相模原市社会福祉協議 会 UDトークオペレーターを南ボランティアセンターを通じて募 集。 初心者のためのUDトーク研修会：4月22日16：30～17：30 場所：南福祉ラウンジにて実施。
第17回 特別回	2021年10月16日	相模女子大学グリー ンホール 多目的 ホール		松元ヒロ ソロ・ライブinさがみはら	手話通訳及びUDトークによる 字幕付き 会場案内にPPスライド表示 ※ta-netおよびヒロさんとの 話し合いにより 訂正したフライヤーは右の通り		びあ66名当日52名 小学生1名 ガイドヘルパー4名 スタッフ・ボラン ティア18名 合計142名	後援・相模原市、相模原市教育委員会、相模原市社協 アンケート回収19通 ここずたうん20号を当日発行・配布  【10月16日の聴覚障がい者対応の様子】 ステージに松元ヒロさんと手話通訳者 手話通訳者の背後に出ているのがUDトークによる字幕 写真手前の左右一列に見える後ろ姿がUDトーク・オペレーター 当日の手話通訳者3名、オペレーター7名がボランティア参加。

回	実施日	会場	上映作品	製作年/上映時間/監督	バリアフリー対応	連動企画	来場者 有料+無料	備 考
第18回	2022年3月5日	南市民ホール	戦車闘争	ドキュメンタリー映画/2020年 制作/104分/監督 辻豊史/ プロデューサー 小池和洋 /ナ レーション 泉谷しげる	字幕・音声ガイドはオフィシャル（UDCast方式） 挨拶・関連企画の『戦車は止まった』絵本朗読についてトーク・会場案内に手話通訳者配置 フライヤーにUNI-Voice表示 会場案内にPPスライドによる表示説明 ・ドア位置を手拍子で説明 ・開始ベルにかえて、場内照明の点滅で案内	●絵本『戦車は止まった』（文・にしお けんじ/絵・やまだひろみ）スライド上 映付き朗読 朗読・有山恵子 ピア ノ・おがたゆみ 編集・ここずっと ●『ここずたうん21号』を発行 特集 「このまちの この人たちの 記憶を ここでずっと」（戦車闘争50周年にちなむ）  ●相模補給廠監視団の監視団ニュースから、戦車闘争の時系列をまとめ、現在の補給廠の伝える掲示物を作成、ロビー展示を行う。	昼の部 105名+ヘルパー3名+中学生1名 スタッフ・ボランティア12名 夜の部 54名+ヘルパー2名+小中学生3名 スタッフ・ボラ13名	昼、夜の部とも 小池和洋氏による飛び入り挨拶あり 後援・相模原市、相模原市教育委員会、相模原市社会福祉協議会 協力・相模原市職員組合 地方自治研究センター 「アゴラさがみはら」編集委員会 相模補給廠監視団 朗読は、youtubeにて動画記録を公開 https://www.youtube.com/watch?v=Gumw6QEQRpE 
第19回	2022年5月7日	相模女子大学グリーンホール 多目的ホール	MINAMATAーミナマター	2020年/アメリカ/英語・日本語/115分 製作：ジョニー・デップ/監督：アンドリュー・レヴィタス 脚本：デヴィッド・ケスラー/原案：「写真集 水俣」W.ユージン・スミス、アイリーンM.スミス（著）/出演：ジョニー・デップ、真田広之、國村隼、美波、加瀬亮、浅野忠信、岩瀬晶子、キャサリン・ジェンキンス and ビル・ナイ/音楽：坂本龍一/配給：ロングライド 	字幕・音声ガイドオフィシャル UDCast方式 挨拶・トーク・会場案内に手話通訳者配置 フライヤー及び当日発行の「ネット・インフォメーション vol58」（「水俣」を子どもたちに伝えるネットワーク発行）にUNI-Voiceコード付与 トークは、手話通訳のほか、UDトークによる字幕投影（オペレーター昼の部7名、夜の部6名） 会場開始ベルと照明点滅を実施 会場の階段段差解消のため、可変式床の移動、椅子並べ替え 	●「MINAMATAと出会う・トーク」として各回上映後アフタートークを実施。 アイリーン・美緒子・スミスさんと緒方祐美さん（伝えるネット）のトーク、司会・田嶋（ここずっと） 夜の部のみtwicax配信あり。  ●「MINAMATAと出会う・写真展」として写真展開催 大野南公民館 4月28日～5月6日 上映会当日は移動して会場ロビーに展示 アイリーン・アーカイブから借り出した写真（21点）及び「水俣」を子どもたちに伝えるネットワーク所蔵写真 ※写真展示に際しては視覚障がいの方を含み展示解説を実施	昼の部 155名 ガイドヘルパー13名 小学生1名 招待3名 夜の部 74名 ガイドヘルパー1名 招待2名 スタッフ・ボランティア13名 ディアドア13名 （手話通訳者4名、UDオペレーター13名含む）	後援・相模原市、相模原市教育委員会、相模原市協会 アンケート回収116通  ▲大野南公民館での展示（上・アイリーンアーカイブ/下・伝えるネット所蔵） ◀左は当日ロビーの写真展示

回	実施日	会場	上映作品	製作年/上映時間/監督	バリアフリー対応	運動企画	来場者 有料+無料	備考
第20回	2023年1月6日	南市民ホール	劇場版 荒野に希望の灯をともし	2022年/日本 カラー/90分 朗読：石橋蓮司/語り:中里雅子 撮影・監督：谷津賢二 製作・配給：日本電波ニュース社/企画：ベシヤール会 / 構成・制作：上田末生	予告編の字幕・音声ガイドをこごずつとが制作・youtubeにアップ https://www.youtube.com/watch?v=VvafHS-SDE4&t=10s 本編字幕・音声ガイドはシネマ・チュプキとこごずつとで協働制作、監修に日本電波ニュース社・上田末生さんが参加。 ディスクライバー・田嶋瀬里音/ガイド朗読・有山恵子/音声ガイド監修・平塚千穂子/録音スタジオ・シネマ・チュプキにてFM発信方式 手話通訳とUDトークによるオンタイム字幕表示 ・ドア位置を手拍子で説明 ・開始ベル&場内照明の点滅で案内 ユニバーサルデザインによる上映会を目指してチャレンジした事柄 ・ナビレク ・ナビレンス ・袖縁 β版実践体験 ・Uni-Voice ・UDトーク チャレンジ項目について説明解説した当日プリントを来場者に配布 (右図)	●告知活動として「こごずたうん22号」を2022年11月を発行 特集テーマは「ユニバーサルデザイン・シティのすすめ」 ●昼、夜の部とも 谷津賢二監督によるアフタートーク ●くまざわ書店相模大野支店 (ステスク6F) にて関連企画コーナーを設置	昼の部 271名+ヘルパー及び中学生11名 スタッフ・ボランティア22名 (手話通訳1名 UDオペ5名含む) 夜の部 90名+ヘルパー及び小中学生4名 スタッフ・ボラ21名 (手話通訳1名 UDオペ4名含む)	後援・相模原市、相模原市教育委員会、相模原市社会福祉協議会 ▶当日配布裏面UDチャレンジ項目の解説実施 表面は「こころの通訳者たち」告知
								
								
								
							ナビレンス貼付▼	
第21回	2023年9月15日	南市民ホール	生きる 大川小学校津波裁判を闘った人たち	2022 年/日本/16:9/カラー/124 分 ©2022 PAO NETWORK INC. 監督:寺田和弘 プロデューサー:松本裕子 協力:大川小学校児童津波被災遺族原告 バリアフリー版制作:NPO メディア・アクセス・サポートセンター 配給:きろくびと 2022 年文部科学省選定作品 東京都推奨映画	手話動画付き上映初チャレンジ! 本編字幕・音声ガイド、手話付とオフィシャル(制作/MASC) HELLO! MOVIE方式 FM発信方式で音声ガイド提供 昼の部アフタートークはZOOM出演について手話通訳とUDトークによるオンタイム字幕表示 ・ドア位置を手拍子で説明 ・開始ベル&場内照明の点滅で案内 ユニバーサルデザインによる上映会を目指してチャレンジした事柄 ・ナビレク ・ナビレンス ・袖縁 β版実践体験 ・Uni-Voice ・UDトーク	●当日資料を兼ねて「こごずたうん23号」(2023年9月を発行) 配布 特集テーマは「ユニバーサルデザイン・シティのすすめ」 ●昼、夜の部とも 谷津賢二監督によるアフタートーク ●くまざわ書店相模大野支店 (ステスク6F) にて関連企画コーナーを設置	昼・夜の部合計有料入場 総入場者数 168名 びあ 98名 当日 55名 合計 153名 無料入場 ガイドヘルパー及び小学生 15名 昼の部 スタッフ・ボランティア26名 夜の部 スタッフ・ボランティア24名 のべ 50名	後援・相模原市、相模原市教育委員会、相模原市社会福祉協議会 ▲UDトーク、ZOOM出演のための手配模式図
								